

# 水のはたらきを生かした石井樋 いしいび

## 1 どんなところ

石井樋 いしいびは今から約400年前に成富兵庫茂安 なりとみひょうごしげやすが、頻繁 ひんぱんに干ばつになる佐賀 さがの水道用水や佐賀平野 さがひらの農業用水の確保を目的として、嘉瀬川 かせがわにつくった日本最古 しゆすいしせつの取水施設です。象の鼻 てんくや天狗の鼻 てんくは、佐賀平野に農業用水を供給 きょうきゅうするだけでなく、洪水によって大量の砂が農業用地に流れ込むことを防いでいました。佐賀の人々の暮らしを守るため、先人の知恵が活かされた貴重な施設 きちょうしせつです。象の鼻では砂が入り込まないように水の流 かべれで壁を作り、天狗の鼻では流れを緩 ゆるくして砂を沈 しずめるといったしくみになっています。

## 2. 理科学習の中で

単元 第5学年 「流れる水のはたらき」

砂が入り込まないようにするために、天狗の鼻によって水の流 かべれを緩くしてします。水の流 かべれが遅くなると、水に混ざっていた砂などは沈んでいくことになります。特に天狗の鼻の内側には多くの砂が溜 たまっています。水が曲がって流れているところでは、内側に石や砂が積 たもることを生かしていることになります。

象の鼻  
内側に砂がたまっています。



石井樋  
内側に砂がたまっています。

## 3. 参考資料

さが水ものがたり館ホームページ  
佐賀県こどものサイト キッズサイト

<http://www.sagamizu.jp/>

<https://www.pref.saga.lg.jp/kids/>